

5-0208

0136

心

明治四十一年十月一日

海軍少將村上格一

藤野外務大臣秘書長殿

米艦隊士官、家族ニシテ同艦隊乗泊中
事演習ニ在リテ別記ノ通ニ被旨以旨
念申進被致旨

直ニ日暮ニ由同條被旨分アテハ總テ
右ノ通改正セラルルハ即チ存中奉旨申
知事被旨念申進被致旨也

Names of Wives and Relatives of the American Naval
officers of the Visiting Fleet and of those of the
the Residents in Japan.

Name	Wife or Relative of	Address
Mrs. E.F. Qualtrough	Capt. Qualtrough	U.S.S. GEORGIA
Mrs. W.H.H. Southerland	Capt. Southerland	" NEW JERSEY
Miss. Southerland	do.	do.
Miss Mary Southerland	do.	do.
Mrs. R.F. Nicholson	Capt. R.F. Nicholson	" NEBRASKA
Mrs. B.P. Jackson	Lt.-Comdr. O.P. Jackson	" MINNESOTA
Mrs. R.W. McNeely	Lt.-Comdr. W.R.W. McNeely	" LOUISIANA
Mrs. G.E. Geln	Lt.-Comdr. G.E. Geln	" WISCONSIN
Mrs. B.F. Hutchinson	Lt.-Comdr. B.F. Hutchinson	do.
Mrs. Dion Williams	Major Dion Williams	" CONNECTICUT
Mrs. K.G. Castleman	Lieutenant K.G. Castleman	" KANSAS
Mrs. C.T. Wade	Lieutenant C.T. Wade	" OHIO
Mrs. A.B. Cook	Ensign Cook	" GEORGIA
Mrs. Hare	Care Ensign Cook	" do.
Mrs. Le Bretton	Ensign Le Bretton	" WISCONSIN
Miss. Le Bretton	do.	do.
Mrs. J.H. Merriam	Paymaster J.H. Merriam	" KANSAS

.....

Mrs. J.A. Dougherty	Comdr. J.A. Dougherty	Naval Attaché
Mrs. J.A. Irons	Lt.-Colonel J.A. Irons	Military Attaché
Mrs. W.R. Du Bose	Medical Inspector W.R. Du Bose	U.S. Naval Hos- pital.
Miss. Du Bose	do.	do.
Miss. Du Bose	do.	do.
Mrs. J.G. Fryer	Surgeon James G. Fryer	do.
Mrs. J.H. Gummell	Paymaster J.H. Gummell	do.
Mrs. Kennedy	Mr. Kennedy	Manager of the Associated Press.
<i>J.R.</i> Mrs. J.K. Ohl	<i>J.R.</i> Mr. J.K. Ohl	<i>米国大使館</i> Care of Military Attaché to American Embassy
Mrs. S.C. Mills	Colonel S.C. Mills	

(*)
*
人

心

明治四十一年十月三日

村上海軍少將

外務省秘書官殿

米艦隊三便乘渡米外
國新聞記者人名
別紙為御参考及送付候頓首

Civilians accompanying the Fleet.

Ship.	Name.	Representing.
Vermont.	R. H. Patchin.	New York Herald.
Lucisiana.	P. Matthews.	Laffan Press Association.
Kansas.	T. Dart Walker.	Special.
Georgia.	H. L. Clotworthy.	United Press Association.

5-0208

0140

昭和十一年十月三日

三管 政務局

乙秘第八九五號

十月五日

陸軍省

中野

米國艦隊並ニ実業家歓迎ノ件

機密 受第2299號

第10月

今回来航スベキ米國艦隊並ニ実業家歓迎
ニ関シ過日商業會議所ニ於テ東京実業
組合聯合會ノ臨時總會ヲ開キ協議スルアリ
結局提灯行列ヲ挙行シテ歓迎ノ意ヲ表ス
ルコト、シ 来ル十月廿二日(雨天順延)午後五時日比
谷公園ニ集合シ支レヨリ市中行列

二重橋前、商業會議所前、外務省、米國大使館
前、首相官邸前ニ於テ萬歳ノ合唱等ヲ為ス
計画ノ趣既ニ其方法等 會長星野錫ヨリ
各担当長、支々通知セリト云フ

明治四十一年十月七日

米本艦隊接待委員長

海軍少将村上操一

横野外務大臣秘書長

本艦隊者係依命即日由横濱接待艦隊
中一艦と云ふ事知れず不意中米本艦隊
接待委員長と云ふ事知れず海軍省本館へ
申交渉し要せらるる事本館中
海軍大臣野呂中丞に承知せしむ
右通信上諸誤之避るる為に可成遺憾なり

大臣

小村

No.

3575

明治四十一年十月七日 午後八時
本館着

次官

赤塚

小村外務大臣

赤塚領事

政務

通商

人事

會計

取調

本館着

本日米國廻航艦隊司令長官訪問、際左

艦隊ハ十月十七日朝横濱着、若 Auxiliary

Yankton 八日出帆、十月十六日横濱着、若

同艦長ハ副官

代理トシテ萬事、本合ヲ為ス若又同

艦ハ長距離無線電信ヲ有シ十四日、

海

米艦事紀

夜ニハ横濱ト通信スルヲ得ヘシ他ノ補助
船ハ本邦ニ行カス我歡迎カログラムハ
最モ鄭重ナレトモ水兵ノ為備サルヘキ
芝居ハ濠洲ノ例ニ據レハ彼等ハ芝居自
リモ寧ク自由觀光ヲ好ムニ依リ甚多
勝手ノ間敷申合ナルモ見合方ヲ其筋
ハ傳達ヲ請フ
司令長官ハ今回ノ日本行ハ一同ノ最モ愉快
トスル処ニシテ長官自身ハ既ニ二回本邦
ニ赴キ大ノ日本好ナルヲ真面目ニ話サレ
タリ

官房第三〇六七號
明治四十一年十月八日

海軍次官加藤友三郎

不井印務次官殿

米倉艦隊接待米の各人各節及中
迎立の事、交々当り記述に事か本隊
此旨申す事とす也

内閣、都、近加
内閣書記長坂田幹太
以上

明治四十一年十月八日

海軍次官加藤友三郎

外務次官石井菊次郎殿

米國艦隊接待次第昨日御送付致置
鬼右米艦隊中、補助艦船八通報艦
ヤンクトン文ナ来リ其他、補助船八来リサレ
事ニ相成美旨本日同艦隊長官ヨリ、公電
ニ接シ美ニ付テハ、追テ海軍書印副ニ付テハ、節ハ
其ノ来リサレハ、割除、答ニ美得共不取致
此旨御報申進奉也

明治四十一年十月九日接受

書人

米國大西洋艦隊司令長官以下接待用ノ為メ芝
雜官一架設相成候電話番号左記ノ通りニ
有之候十八日以後ハ同電話ニ御通話相成度
此段及御通知候也

明治四十一年十月八日

式部職

外務省大臣官房

御中

記

新橋五千六拾番

同 四千六拾二番

明治四十一年十月十五日

宮省

寫大臣官房調製

明治四十一年十月十日

十月九日
若道

第門

米國大西洋艦隊司令長官以下接待用ノ為メ芝
雜官一架設相成候電話番号左記ノ通りニ
有之候十八日以後ハ同電話ニ御通話相成度
此段及御通知候也

海軍大臣
外務大臣

官房第三〇七號

官房第三〇七號

海軍

二十一年十一月十二日

東

米國大西洋艦隊今般事航可致意付子
同艦隊司令長官海軍少将チヤールズ・エス・ス
パリー及部下將校等別記ノ通 謁見被仰
付多様致意問可然事取計事申付
没申進也

明治三十二年十一月九日

海軍大臣
外務大臣

宮内大臣
大臣

官房第三の久野號白八

海軍

外航行別紙

日	大西洋艦隊司令官	海軍少将	チャールズ・エス・スヘリー
日	司令官	海軍少将	ウィリアム・エッチ・エモリー
日	司令官	海軍少将	シートン・シエローター
日	司令官	海軍少将	リチャード・ウエーリントン
日	グーモント艦長	海軍大佐	ダブリュ・ピー・ボッター
日	ルーイジャーナ艦長	同	ケト・ナイルス
日	ミネソタ艦長	同	ジエト・ハッバード
日	ロードアイランド艦長	同	ジエト・ビト・マードック
日	コネチカット艦長	同	エッチ・オズメーハウス
日	カーンサス艦長	同	シト・イー・ウーランド
日	ジョージヤ艦長	同	イト・エフ・クウォルトル
日	ミエ、ジャージー艦長	同	ダブリュ・エッチ・エス・サラー
日	オハイオ艦長	海軍大佐	テト・ビト・ハワード
日	ケンタッキー艦長	同	ダブリュ・シト・コウルス
日	ネブラスカ艦長	同	アル・エス・ニコルソン
日	ケルサー艦長	同	エッチ・ハッチンズ
日	イリノイ艦長	同	ジエト・エム・ボヤー
日	バージニア艦長	同	エト・シヤーフ
日	ウイスコンシン艦長	同	エフ・イー・ビーチー
日	ミズーリ艦長	同	アル・エム・ドレイル
日	艦隊参謀長	海軍中佐	エト・ダブリュ・グラント
日	コネチカット副長	同	エル・エス・ウァン・テューセル
日	オハイオ副長	同	ダブリュ・ダブリュ・ブカナン
日	ルーイジャーナ副長	同	イト・イー・ケト・フハート
日	艦隊主計長	海軍主計中監	サミエル・マックゴワン

海軍

時計類ハ陸軍秘書官ノ依頼ヨリ

日	ヤシトシ艦長	海軍少佐	ニ、ロ、マックウエー
日	艦隊参謀	海軍大尉	テ、テ、クレグエン
日			テ、ダグリン、ウアルツホー
日			アルダグリン、ヘンデルシ
日			エス、シ、ローウエシ

海軍

5-0208

0148

四十二年十一月十二日

1. Rear Admiral Charles S. Sperry.....Commander-in-Chief.
2. Rear Admiral William H. Emory.....Commander, Third Division.
3. Rear Admiral Seaton Schroeder.....Commander, Fourth Division.
4. Rear Admiral Richard Wainwright.....Commander, Second Division.
5. Captain W.P. Potter.....Commanding VERMONT.
6. " K. Niles..... " LOUISIANA.
7. " J. Hubbard..... " MINNESOTA.
8. " J.B. Murdock..... " RHODE ISLAND.
9. " H. Osterhaus..... " CONNECTICUT.
10. " C.E. Vreeland..... " KANSAS.
11. " E.F. Qualtrough..... " GEORGIA.
12. " W.H.R. Southerland..... " NEW JERSEY.
13. " T.B. Howard..... " OHIO.
14. " W.C. Cowles..... " KENTUCKY.
15. " R.F. Nicholson..... " NEBRASKA.
16. " H. Hutchins..... " KANSAS.
17. " J.M. Bowyer..... " ILLINOIS.
18. " A. Sharp..... " VIRGINIA.
19. " F.E. Beatty..... " WISCONSIN.
20. " R.M. Doyle..... " MISSOURI.
21. Commander A.W. Grant.....Chief of Staff.
22. " L.S. Van Duzer.....Executive Officer,
CONNECTICUT.
23. " W.W. Buchanan.....Executive Officer,
OHIO.
24. " E.E. Capehart.....Executive Officer,
LOUISIANA.
25. Pay Inspector Samuel McGowan.....Fleet Paymaster.
26. Lieut-Commander C.H. McVay, Jr.....Commanding YANKTON.
27. Lieutenant T.T. Craven.....Aid-Flag Lieutenant.
28. " D.W. Wurtsbaugh..... "
29. " R.W. Henderson..... "
30. " S.C. Rowen..... "

明治四十年十月十日

官房第三〇六七號、五。

海軍次官加藤友三郎

外務次官石井菊次郎殿

米國艦隊ハ来ル十七日横濱ニ入港、答タルモ其内補
助艦船ヤシクトン又ハ一日早ク十六日ニ横濱入港ノ
豫定ニ有之同艦長ハマクヱ子一少佐 (Lt. Comdr. W. Mc
Cord) ニシテ萬事、打合ヲ為ス答又同艦ハ長距
離無線電信ヲ有シ十四日夜ニ横濱ト通信スルヲ
得、キ吉田長官公電有之矣

右御通報申進也

(終)



2336

御野尾

五

半纏

米海軍省

明治四十一年十月十日

野間口海軍大臣

野間口

海軍大臣野間口

過日及通通知平並其米海軍家族

等ノ人外左記ノ志海軍省

此方及通通知也

Mr. & Mrs. E. W. Clement.

Mrs. & Mrs. Dwight.

米國のカゴチーリ一記者
(市ヶ谷サナハ敷二十九)
米國のカゴチーリ記者
(帝國大學)

野間口

明治四十一年十月十日 海軍省

米海軍省



海軍大臣野間口

米國艦隊接濟以常印刷ニ付ルル部有
之美ニ付テハ右最後決定ノ旨ニ明後十日午
後一時三十分海軍省會議相開度其間
御出席相御度
右得費ニ意ヲ敬具

貼付紙

米國大西洋艦隊高級指揮官參謀長及艦長

艦名	官名	任官年月日
	司令長官 R. Adm. Charles S. Sperry.	26 May 1906
	參謀長 Comdr. Albert Weston Grant	1 July 05
	第一小隊	
Connecticut	Capt. Hugo Osterhaus	19 Feb 06
Kansas	" Charles E. Vreeland	13 Apr. 06
Vermont	" William P. Potter	13 Sept. 04
Minnesota	" John Hubbard	8 July 05
	第二小隊	
	司令官 R. Adm. Richard Wainwright	11 July. 08
Georgia	Capt. Edward F. Quaitrough	1 July 06
Nebraska	" Reginald F. Nicholson	" "
New Jersey	" William H. H. Southerland	22 Apr. 06
Rhode Island	" Joseph B. Murdock	22 July 06
	第三小隊	
	司令官 R. Adm. William H. Emory	2 Nov. 06
Louisiana	Capt. Kossuth Niles	1 July 05
Virginia	" Alexander Sharp	23 Apr. 06
Ohio	" Thomas B. Howard	24 Feb 07
Missouri	" Robert M. Doyle	1 July 08
	第四小隊	
	R. Adm. Seaton Schroeder	11 July. 08
Wisconsin	Capt. Frank E. Beatty	1 July 08
Illinois	" John M. Bowyer	8 Nov. 07
Kentucky	" Walter C. Cowles	19 May 07
Kearsarge	" Hamilton Hutchins	13 Oct. 07
	特務船	
Panther	Comdr. Valentine S. Nelson	1 July 05
Relief	Surg. Charles F. Stokes	31 May 05
Yankton	Lieut. Comdr. Charles B. McVay	1 July 05
Culgoa	" John B. Patton	" "
Gacier	Comdr. William S. Hogg	" "

一、姓名表ヲ貼付紙ノ如ク改正ス
驅逐艦 Whipple, Hopkins, Hull, Lawrence, Truxton, Stewart 及母艦 Arethusa ノ各欄ヲ削除ス

東洋派遣各國艦艇表(十三刊)附錄(米國大西洋艦隊第二回訂正)

明治四十一年十月二十二日接受

大官房

秘
内
第
二
種

山

明治三十四年十月十三日
海軍大臣秘書官山梨勝之佳

外務大臣秘書官藤田乙治宛

米國艦隊歓迎之儀
米國艦隊が本邦領域に近接するに及ぶ
に際し海軍省は朝野海軍の向うが
甚だしく別紙の如く司艦隊司令
官の電報に於て詳述を付し海軍省に於て
海軍

右通函候

（印）

船香納

To Admiral Sperry

Hearty welcome to your fleet. We
eagerly await your arrival.

Saito, Minister of Marine.

5-0208

0155

山

明治四十一年十月十三日

野間口海軍大佐

以修所不務在位故書在版

米糧來航中左記去在東京候廻り付る

由來考以通知中 謹此也

The Hon. Thomas S. Hammons, American Consul General,
at Seoul, Korea.

Mrs. Thomas S. Hammons.

As the guests of Mr. Miller, Secretary of the American
Embassy, Tokyo.

山

明治四十一年十月十三日

野間口海軍大佐



謹此通知方臣候者及版

若國船隊接待會用鑑札者板及由送
付也

追示事件之關シテハ別紙通關係諸廳

通知致呈其案方表申渡也

右鑑札ハ歡迎用務信了上ハ御返却ナシ

明治四十二年十月十三日

海軍次官

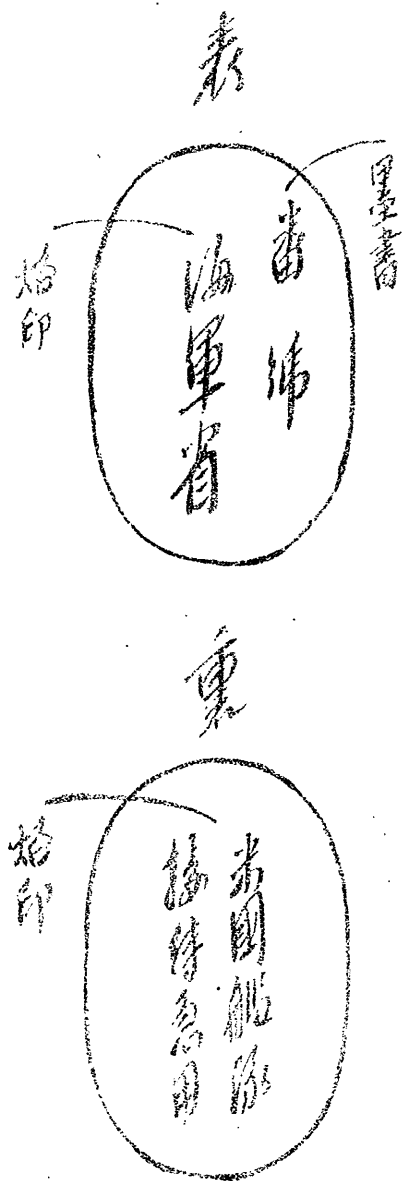
加藤友三郎

東京市長、警視總監、神奈川県知事、横濱市長宛

米國艦隊歓迎ノ節格待用船ヲ帶ニ急遽通行ヲ要ス
此者ニ在リ鑑札ヲ所持セシメ去來有鑑札者ハ向テ海
警衛署員他取柄上一般公衆通行ヲ禁止スル区域内ト爲
ス便宜通行セシメテ格待用船警衛署員取柄ニ注ルニ格
待用船系右取柄計表ニ在リ

是ノ米國大使館員如キ直接關係向テハ取柄計表
海軍御承知相成度

鑑札離形（本札ニ烙印ス）



五

明治三十一年十月十日

古里平主計長

対給大匠致書石上條中佐

米軍艦隊乗員一隊呈請

及支村等米軍艦隊滞在中心便重委員

米軍通知

海軍

船名

5-0208

0158

明治三十四年十月十四日

上

聖旨 海軍大佐

外務大臣 榎本武揚 薩摩七郎 榎本

米國船係入港者、梅待以申言り出迎ふ事、
横濱港に出張し、委多利汽船、本年、十月、
十五、日、港務部梅橋に着き、ト、定定、
榎本、と、相成、及、榎本、
ナキ、限リ、ハ、事、ハ、通、事、ハ、榎本、也

明治四十二年十月十五日接受

米艦来航

警務局

受第一一五五七番

乙 秘 第九八九號 十月十四日

第 九 門

米艦来航、付外國人、談話

米國艦隊来航、付九月廿七日頃京橋區ノトロポール
ホタル、投宿シ清國、向テ出立シタル清國嶺山學校
雇教師米國人、クインシナル者ホタル帳場ノ者ト談
話中左ノ如ク語リタリトス

我々米國艦隊来航、付日本、於テ熱誠ナル
歡迎スル由ナルが艦隊乗組水兵ハ國家ノ觀
念ナク自分本位ノ者、集合ナルが故酒癖ノ為
ニ以外ナル過ヲ生シ折角ノ厚意ヲ無シ無

昭和二年十一月一日

禮ヲナスモノアリシトハ今ヨリ不安、堪ヘズ又艦隊乗
組水兵ハ各國人相合シ居ルヲ以テ教育スル者少ク
殊ニ米國、在ッテハ市内往來ノ賣春婦、戯ル、
ヲ以テ樂トナシ居ル等ノ習慣アルモノ多キ為ノ長
途ノ廻航、飽キ前ニ桑港、寄港セシ時ハ千
五百名餘ノ脱艦者アリ又布哇、寄港上陸、
際ハ各所、酒癖ヲ表シ同地、婦女ニ戯ル、
等歓迎者、迷惑セシメタル其結果、アメリシ
ハ上陸セシノリシ等、是皆水兵上陸、不結果ノ致
ス所ニテ彼水兵社會、於テハ上陸スル先ツ飲

酒シ而シテ後婦女、戯ルヲ以テ最上ノ樂ト爲シ居
ル者ナレハ折角歡迎サレ、日本市街ニ於テモ米
國同様通行、婦女又ハ各名家ニ迎ヘテハ貴
婦人令嬢、對シ無禮ノ所業ヲ爲シ國際上不
快ノ感ヲ與ヘル等、事ナキ操致シタキモノナリ云

以上

秘
宋國艦隊員入京ニ關スル件
第一回報告

宋國艦隊來訪ニ對スル手配方法
第一項ニ依リ巡查配置箇所別紙
ノ通ニ候條此段及報告候也

明治三十二年十月十九日

警視總監尾井英三郎

制服巡查配置箇所

署名

配置箇所

署名	配置箇所
<p>麹町</p>	<p>清國赤十字表門一、同通月門一 花園附近 一、有楽町新築方面停車場一 上停留場一、櫻丘三停留場一 三宅区停車場一、羊角門外停車場一 芝区運動地一、勸業銀行前停車場一、丸根坂下町一、 馬場大井町一 新上町一</p>
<p>神田</p>	<p>須田町交差点一、南明館前二、赤月全館前一、外神田茂屋所電車停車場一 小川町交差点二、神田橋交差点二、松尾町電車停車場一、東明館前二、南神保町交点一 兩國区番所前道一、南茅場早交番所前道一 築地橋降二、朝前橋降二、銀座三丁目四角一、尾張町四丁目三、電車中取降二 築地橋前降降二、京橋降北詰二、新橋降二、芝菜橋降二</p>
<p>京橋</p>	<p>新橋停車場五、赤十字表門前一、品川停車場一、泉伝寺由一 同上附也 一、芝菜橋前 一、八ヶ山停車場一</p>
<p>赤坂</p>	<p>表早一、一、一、櫻坂早一、赤坂地先一、赤坂尾電車終点一 臨早二丁目一</p>
<p>牛込</p>	<p>牛込停車場二、飯田橋交点一、神楽坂上下二、高井原電車終点外五ヶ所一 市ヶ谷見附停車場一、余田坂一、櫻坂早番地先三ヶ所一、山吹早三ヶ所番地先一 安藤坂一、新坂一、水道橋一、江戸川停車場一、春日早停車場一</p>
<p>小石川</p>	<p>湯島三丁目一、番地先一、本所三丁目四角一、八重垣早四三番地先一 上野公園電車交点一、上野公園山王台一、上野公園停車場電車線路二 同上三ヶ所一、山下早一、番地先一、動物園内外</p>
<p>下谷</p>	<p>電車停車場取降一、辰村一、雷門一、仲町茶屋町野村、松清町、菊屋橋以上各一 東洋館前 一、電車終点 一、大門入口一、千束町二、三、角一、吉野橋上、 梅園前 一、江川五番所 一、大門入口一、本願寺中門内外一、日本堤下、 交通 一、梅園前 一、花屋敷集入 一、新上原 一、芝山町角 一、川上上 一、 雜貨取降公園親善堂上 一、花屋敷集入 一、以上各一、 同西入口 一、揚屋町角一、芝草橋上 一、電車乗込一、 同上四角一</p>
<p>浅草</p>	
<p>本所</p>	<p>東西面交番所前一、西面停車場一、電車取交番所前一、辰村停車場一 吉妻橋交番所一、枕形降一、三國社之南一、向島花道前一、電車通り一 四八幡橋停車場三、延寿外上平一、延寿十間道、以角一 深川公園三、延寿十間道、以角一</p>
<p>品川</p>	<p>八ヶ山停車場四一、六、藤田停車場二、大森停車場二、延寿四一、八、 同上海岸停車場二一四、允岸渡内 一、三浦田停車場一</p>
<p>新宿</p>	<p>三丁目停留場一、 必安、忘れ屋時、配置</p>
<p>千住</p>	<p>一万花園其内、近一、大倉町前一、角、丸根坂、月、草、植、近一、梅、若、木、寺、附、近一、 南北十住、冬、停車場四、十住、賀、産、敷、附、近一</p>
<p>計</p>	<p>百九十四ヶ所</p>

私服巡查配置箇所

署名	配置箇所
期町	十名
神田	須賀町交又点一
日本橋	日本橋通り交又点一 堀根取所三 寄席劇場取所二 他線 電車内 堀根取所三
京橋	電車内 堀根取所四
芝	新橋停車場二 芝公園内二 泉岳寺内二 品川停車場一(金山原橋)
麻布	赤羽橋芝公園通取所一 飯倉三六号本通り一 龍土町聯隊取所一
赤坂	環状線 油池五番地先 田町行州一 新町平日 ラビ通一 四 電車取二
四谷	電車内一
牛込	飯田橋刑場一 社稷坂上下一 新見付一七番学校一 同刑場一 左 堀根取所一
小石川	堀根取所三(電車内 停車場小石川) 堀根取所一
本郷	園子坂附近二
下谷	野公園停車場及電車停車場二
本所	東田町交又点前二 西田橋一 東田町交又点前二 飯橋停車場一 吾妻橋交又点前二
深川	遊廓四二
水上	ナシ
計	七十八名
品川	遊廓三 八ヶ山停車場一
新宿	新橋停車場一(刑場)
小石川	慶戸天神及附近一 慶戸停車場一
計	七名
総計	八十五名

5-0208

0163

通辨巡查配置箇所

配置箇所

署名	有楽町電車停留所、日比谷公園内、三宅坂電車停留所、羊赤川外電車停留所、九段坂下、
麴町	神田橋交又点一、須田町交又一、
神田	日本橋交番所一、室町交番所一、馬喰町交番所一、新場橋分署一、
日本橋	本署一、京橋分署一、三ノ河分署一、尾浜町附近一、
芝	増上寺前一、慶応山手口一、泉岳寺前一、
麻布	赤羽橋交番所一、飯倉二丁目交番所一、六本木交番所一、
赤坂	本署一、
四谷	通赤ナレ
牛込	飯田橋交又点一、高井深敷駅前外五ヶ所一、士官学校前一、
小石川	本署一、(臨時交又点)大塚ナレ
本郷	駒子坂附近一、
下谷	上野公園入口電車停留所附近一、上野公園内一、上野停車場二、
浅草	茶屋町交番所一、観音堂本門一、(五ノ門)中間一、公園内交番所一、五ノ間出入口一、京町交番所一、
本所	東西交番所前一、西園停留所一、喜梅交番所前一、白島三回停留所一、
深川	洲崎糸天早派出所三、
品川	八ツ山停留場二、大森停車場一、遊廓一、
新宿	新宿停車場一、青山七丁目電車終点一、
千住	白島堤上一帯一、
小松川	亀戸天神及附近一、
計	四十六名 外、署員計十三名

秘

第二面報告

米國艦隊員入京之際、事務取扱方、
別紙之通相定候、亦此段及報告候也

明治三十一年十月十九日

警視總監 亀井英三郎

殿

別紙

- 一 米國艦隊員入京ニ付、警視察上諸般事務ヲ処理セムル為、第一新警務課ニ司令部ヲ置キ、警部九名ヲ専ラ該事務ニ従事スルニシム
- 二 司令部ニ通譯員一々ヲ置キ、内外重大文憑事件發生ニ際スル準備ヲ為ス
- 三 司令部ニ騎馬巡查十五名ヲ備ヘ、内十名ヲ以テ諸般視察ニ充テ、五名ヲ以テ傳信ニ充テ
- 四 司令部専用電話ハ、本局四十八番、六十三番、上海軍省其他關係官公署、通譯部、用ニ供ス

秘

米國艦隊員入京三關之件

第三回報告

本月米國艦隊員入京之際、別紙ノ通、巡查
配置致候條此段及報告候也

明治二十一年十月十九日

警視總監 龜井英三郎

5-0208

0166

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

米國艦隊員入京三村巡查配置

十月十九日

一新橋停車場及其附近

一新橋停車場 (圖面添付)

一、配置時間 午前六時三十分

口、配置人員 警部六名 巡查百十五名
私服巡查二十六名

二、汐先橋ヨリ芝離宮表門ノ間

配置人員 巡查七名

三、汐先橋ヨリ蓬萊橋ノ間

配置人員 警部四名 巡查七十名

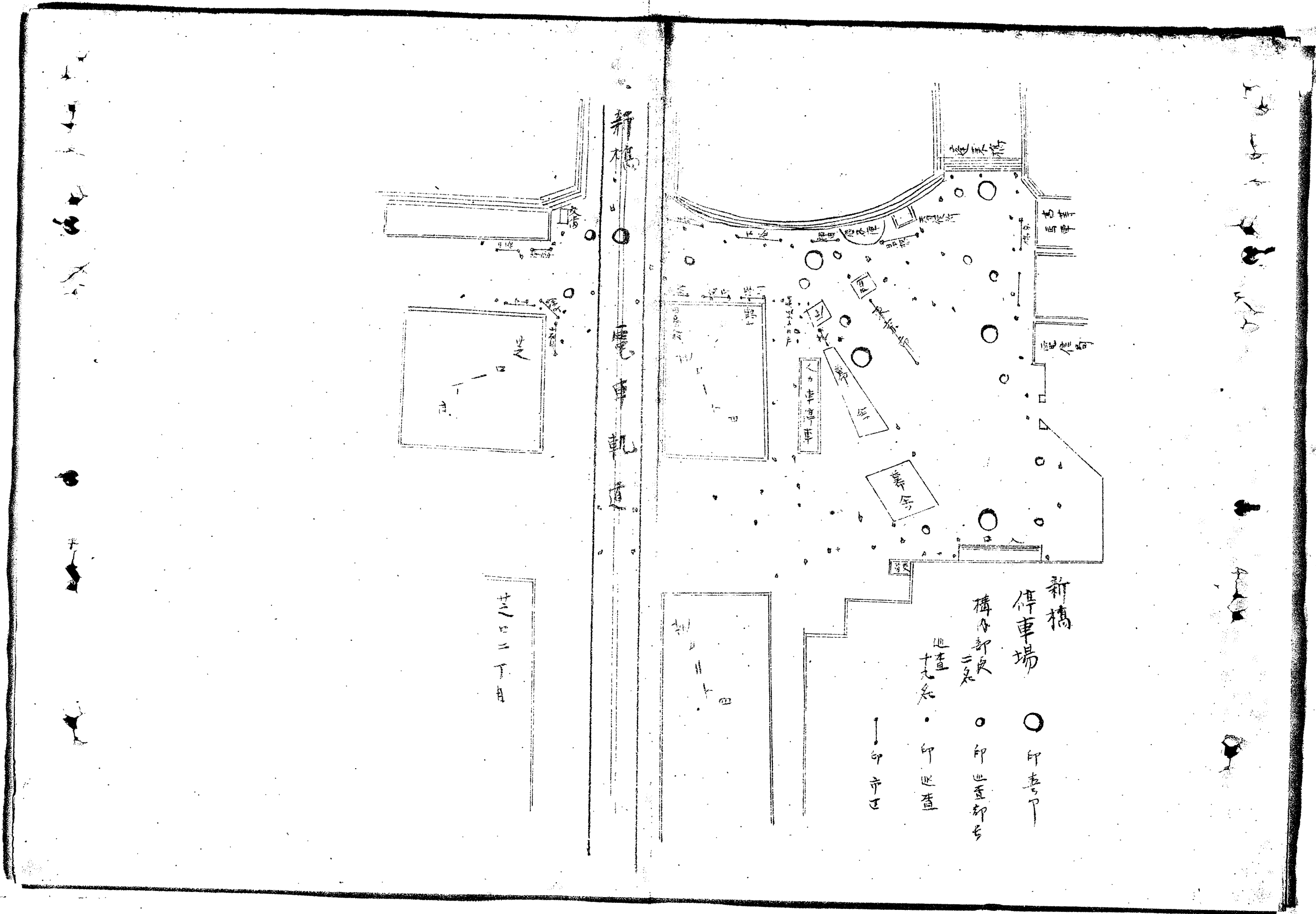
四、新橋ヨリ山下門ノ間

配置人員 警部二名 巡查三十五名

二、帝國ホテル艦長以下宿所

一、配置時間 午前八時

口、配置人員 同ホテル表門 巡查二名
裏門 巡查二名



5-0208

0168

秘

米國艦隊員入京ニ関スル件
第四回報告

米國艦隊員來訪ニ對スル取締
手配方法別紙ノ通候條此段
及報告候也

明治三十一年十月十九日

警視總監亀井英三郎

第四回報告

十月十九日、取締手配

午後三時半 米國大使、米國人接待會

(米國大使館)
司令官外十九名
艦員 五百名

取締手配

巡査

米國大使館構内 四名
正門 二名
生 門外 四名
通 用 門 二名
電車線路及其他道路 六名
大倉喜八郎邸前 二名
門内 二名

計二十八名

外 警部 査部長 教名

警部及巡査部長 教名
私服 一名
通訳 一名

午後

早稻田大学、野球競技招待 (早稻田)

(甲) 牛込署 二名
(1) 沼邊 二名

一 巡査 十九名

(1) 拒受 (通辭) 二名
(2) 場所 (拘捕係) 五名
(3) 其他 (必要ニ依リ) 臨時増員、手配ヲ為ス

計 警部 三名
査部長 七名
査 四十一名

取締手配

(乙)

(1) 運動場 七名
(2) 外 一
(3) 沼邊 五名

外 警部 一名 巡査部長 二名 (内一名通辭)

(2) 通辭 一名
刑部 二名

午後八時

米國大使、晩餐會

(帝國ホテル)
士官以上係員

示子ル 三名
山下見附 一名

手配方法

公園前電車踏切 一名
 有樂町電車交叉点 一名
 霞 門 一名
 貴衆両院議長官舎角 一名
 人力車置場(柳北) 一名
 通 辯 止 查 一名
 警部一名、出査部長一名

計 警部 一名
 出査部長 一名
 査 十三名
 外 豫備トシテ出査十名ヲ
 置キ必要ニ依リ隨時配置ス

午後五時

在東京新聞社、通信社、園林、晚餐 (紅葉館) (警隊使來)

銀座校上 一名
 山内交番所前 一名
 紅葉館 一名
 麻布通云道 一名
 紅葉館上三緑 一名
 赤上中 一名
 紅葉館表門 二名
 玄閑 一名
 裏門 一名

計 出査部長 一名
 査 十名

取締手配

緑門 兩例 二名
 外 一名
 出査部長 一名
 私 一名
 通 一名
 通 一名

秋

米國艦隊員入京ニ関スル
第五回報告

米國艦隊員來訪ニ関スル取締
手配方法別紙ノ通及報告候也

明治三十二年十月十九日

警視總監 尾井英三郎

3172

5-0208

0172

第五回報告

十月二十日、取締手配

午後二時 東京医師団体園遊会(日比谷辛大衛門邸)全座有役員
取締手配 西川 四者

即内外 警部 一
心査部共 一
心査(私服) 一
計 一
(内通共一)

午後二時 慶応義塾、野球競技招待(三田)古官以上役員
取締手配 芝 四者

運動場 警部 二
心査部長 一
心査(私服) 一
心査(私服) 一
計 二
一八(内通共一)

道助八番務、文番所員より克つ

午後三時 東京医師団体園遊会(日比谷辛大衛門邸)古官以上役員(家族)
取締手配 芝 四者

即内外 警部 二
心査部長 一
心査(私服) 一
心査(私服) 一
計 二
二八(内通共一)

道助八番務、文番所員より克つ

午後四時 交詢社員、演習会(交詢社)百名
取締手配 京 四者

即内外 警部 二
心査部長 一
心査(私服) 一
心査(私服) 一
計 二
一四(内通共一)

午後七時三十分 海軍大臣、晚餐（水交社）百二十名
取 締 手 願 京 務 署 コリ

浴 道 警 弁 一
及 令 巡 査 部 長 三
外 場 四 巡 査 一 制 服 二 五 一 四 通 亦 一
私 服 三
計 三 二

明日冬内道筋の令猶未定、海軍有接待委
員より電報通報有之候、其確定上配置人員ヲ
定メ更ニ高免ニ下付候

秘

米國艦隊員入京之関之件
第六回報告

米國艦隊司令長官以下
参内ノ道筋取締手配別紙之通
候條此段及報告候也

明治三十二年十月十九日

警備視總監亀井英三郎

十月司令長官以下管内道筋手配

一 芝離宮ヨリ 汐先橋ヨリ

制服巡查 二名

芝署ヨリ

一 汐先橋ヨリ 蓬萊橋ヨリ

警部 一名

京橋署ヨリ

巡查部長 二名

制服巡查 十二名

私服巡查 三名

通辯巡查 一名

計 十九名

一 蓬萊橋ヨリ 幸橋ヨリ

警部 一名

芝署ヨリ

巡查部長 一名

制服巡查 十一名

私服巡查 二名

通辯巡查 一名

計 十六名

一 幸橋ヨリ 二重橋ヨリ

警部 六名

蘇町署ヨリ

巡查部長 八名

制服巡查 百五十名

私服巡查 十五名

通辯巡查 一名

計 百八十名

一 二重橋ヨリ 新橋ヨリ

右 合 計

右 合 計

一新橋より浅野總一郎部(芝田町)ニ
 巡查部長 二名
 制服巡查 十二名
 私服巡查 二名
 通譯巡查 二名
 計 十八名
 浅野部より歸館ノ道筋ハ未定ニ付確信ヲ
 待テ手配ヲ為ス
 以上

5-0208

0176

米國艦隊員入京事件報告 第七四

本日午前新橋着米國艦隊艦長以下士官帝國
ホテルに到着之際、道筋新橋より順路尾張町角
左山下門に入り帝國ホテルに到着し、或ハ幸
橋渡り勸業銀行前より内務大臣官邸角より
到着し、トミヤモ難斗に付同区域内相席警戒
加ハラリ、午前九時五十分頃、至り京橋方面即
山下門より歡迎者雲霞如ク帝國ホテル前ニ集
シタルスル之方、敬意ニ從事シ、ナリニ艦長等、各士官内務
大臣官邸角、經帝國ホテル西門より、ホテルに
及東門待テ、タラシク歡迎者一時、西門ニ来龍衣シ
其混雜各状スルカ、西門鐵柵、柵入り登ル者鉄
柵ニ手ヲ掛ル者、為ニ稍腐朽傾キ、ナリシ鐵柵瓦柱
ト共ニ五間程倒壊シ、左記ノ負傷者ヲ生スニ至リ
右及報告候也

明治三十五年九月

警視總監 島井英三郎

左記

- 浅草區材木町九番地手氏佐五郎ナリ三女
- 左取部一センヤメル
- 右取部ニセンヤメル 於傷
- 大塚 久之 (傷三三三)
- 浅草區白柳系町三丁目四番地時正手氏 既見大商
- 左腫背ニミンチメル 於傷
- 左足左圍ニ印打撲傷
- 左手背面挫傷
- 中村 嘉七 (傷四五)
- 京橋區針佃町三丁目十番地柄本縣手氏水士原也香
- 左取部ニミンチメル 於傷
- 増 淵 治 郎 (傷三五)

秋

小部事務員入京、同月、作報告

第八回

本日の事務員隊司令長官以下、中野、
「ん」にまゝ通過、於此、此等、記の事、わらぬ
と有し、所、亦、及、報告、修、也

明治四十一年十月十日

本報館長 岩井 三郎

5-0208

0178

第八回報告

十月十九日司會者及以下ノ事ニ付テハ、
手記

一、芝草園字ノ_シ時_ノ格_ニテ

和_ノ後_ノ巡_ル者_一名

一、_シ時_ノ格_ニテ、芝草園_ノ末_ノ格_ニテ及_リ村_ノ格_ニテ、_ノ全_ノ長_ノ早_ク経_テ

教_ノ亭_ノ屋_ノ格_ニテ、_ノ動_ルル_ル

巡_ル者_二名

和_ノ後_ノ巡_ル者_一十八名

和_ノ後_ノ巡_ル者_三名

通_ル者_二名

計_ニテ二十五名

一、芝草園_ノ末_ノ格_ニテ、_ノ村_ノ格_ニテ

巡_ル者_一名

巡_ル者_一名

和_ノ後_ノ巡_ル者_二名

和_ノ後_ノ巡_ル者_一名

通_ル者_一名

計_ニテ九名

一、教_ノ亭_ノ屋_ノ格_ニテ、_ノ末_ノ格_ニテ、_ノ動_ルル_ル

和_ノ後_ノ巡_ル者_一名、_ノ末_ノ格_ニテ、_ノ村_ノ格_ニテ、_ノ全_ノ長_ノ早_ク経_テ

巡_ル者_二名外、_ノ末_ノ格_ニテ、_ノ村_ノ格_ニテ、_ノ全_ノ長_ノ早_ク経_テ

秘

常小松隊員入京後、状況報告

年九四

常小松隊員入京後、状況右記通、報告

昭和四十年十月十日

吉岡 徳興 電丹美三片

5-0208

0100

十月十九日

一 米本 將隊員 常 中 八 米 能 高 務 ヲ ナ ス ヲ ト ヲ 下
先 下 火 銀 子 及 長 日 銀 子 ハ 承 諾 シ 出 ヲ 美 文 ヲ ナ 又
ノ 子 ヲ ナ 込 取 ヲ 招 ケ 多 ン

一 日本 將 直 ヲ 於 テ 將 隊 員 ハ 乗 車 ノ 後 船 登 降 ヲ 行 ヒ 獨
三 日 程 地 上 撤 下 行 ヲ 能 乗 入 於 以 取 入 任 任 セ シ
モ シ ヲ ナ 多 ン

一 米 船 田 女 甚 多 少 聞 傳 陸 軍 兵 隊 三 針 四 十 多 多
終 了 ヲ 同 命 ヲ 爲 シ 將 隊 員 對 シ 同 大 學 ヲ 宣 告 忘
レ 勿 誤 四 時 半 止 功 程 ノ 進 途 既 々

一 津 川 区 洲 崎 船 廠 六 十 分 之 内 二 十 分 以 上 將 隊 員
三 百 八 十 六 名 入 込 ヲ 待 候 十 七 名 出 込 ヲ 見 出 他 八 人 爲 船
程 多 ン

一 幸 前 十 分 止 止 候 行 上 座 合 團 竹 六 名 派 下 見 米 本 表
帳 今 日 接 待 下 於 於 察 忘 ヲ 申 ヲ 申 次 功 程 ノ 進 途
既 々 止 止 候 進 途 入 園 止 將 隊 員 ハ 十 分 程 候 ナリ
上 座 合 團 中 間 止 止 候 進 途 者 多 數 離 任 止 或
ハ 將 隊 員 觀 衆 集 止 或 止 止 候 進 途 者 多 數 離 任 止 或
モ シ ヲ ナ 多 ン

一 米 本 女 使 發 後 將 隊 員 接 待 令 令 令 以 五 分 止
多 シ 候 多 ン

一 吾 等 精 誠 禮 儀 奉 伺 令 令 令 於 於 米 本 二 十 分 程 程
將 隊 員 對 シ 奉 伺 接 待 ヲ ナ ス ト ニ 候 ナリ

一 米 本 時 分 以 下 止 止 候 進 途 三 時 所 西 洋 新 報 店
三 時 止 止 候 進 途 人 力 車 夫 四 名 將 隊 員 四 名 對 シ 四 時
以 上 止 止 候 進 途 人 力 車 夫 四 名 對 シ 依 一 人 亦 亦 亦 亦 債

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡
ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ
満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

同日時刻分國入ルル船ヲ既来ノ船ニ行商スル者船隊ノ

計リ事ヲケテチヨウ西ノ水ヲシヨムク思ハレ一人ニ合乘五船跡ノ貨跡

ヲ相當ト思惟シ以テ意シテ九ノ方夫モ承流シ船隊ノ

満足ヲ表ス

下
 ノミルウホーレンヲ指シテ係後ク子(多)
 下
 下分四分十小沖り込込所西岸新院居(多)
 下
 下隊多(多)領令(多)領(多)領(多)及同隊多(多)
 下
 下先地(多)川(多)多(多)需(多)片(多)就(多)子(多)亦(多)係(多)也(多)子(多)

5-0208

0183

秘

本國艦隊員入京關スル事故統計 (十月十九日)

乗車切符購入不周旋	四	西川貨屋敷三登橋ニ見テ、	二三
人力車貸交渉	九五	洲幸遊廓ニ入ル者約	三八六
人力車貸銭争	一	同登橋遊興ニ見テ、	三四九
指道可	五一三	同病泊ニ見テ、 <small>高七州河 待接以下</small>	一七
酩酊者保護	一八	吉原遊廓ニ入ル者約	二六八
権力世帯品注意	八	白島旧札幌ニ入ル者約	三
酩酊睡眠者注意	六	靖国神社境内ニ入ル者約	三〇
電車乗車ニ付注意	三	米艦員新橋着概取	二二五
ビヤホール群集制止	二	旧帰艦員為乗車セシ概取	一一〇
物品購買ニ付注意	一四		
酒替ニ付注意	五六		
遊興ニ付注意	三		
児童金錢ノ散ラシ者	二		
時間指示	七七		

5-0208

0184

心

明治四十一年十月十五日

野間口海軍大佐



修也外務大臣秘書官殿

米艦隊来泊中亦邦ニ逗留ノ同業組將校
ノ家族及其他人名長迄敷次及脚通知置
美得共尚ホ現在、調別係ノ通ニ付ル脚参
考ニ進美也

5-0208

0185

Names of Wives and Relatives of the American Navy Officers.

Mrs. E.F. Qualtrough	Capt. Qualtrough	U.S.	GEORGIA
Mrs. W.H.H. Southerland	Capt. Southerland	"	NEW JERSEY
Miss Southerland	do.	"	do.
Miss Mary Southerland	do.	"	do.
Mrs. R.F. Nicholson	Capt. R.F. Nicholson	"	NEBRASKA
Mrs. O.P. Jackson	Lt.-Comdr. O.P. Jackson	"	MINNESOTA
Mrs. R.W. McNeely	Lt.-Comdr. R.W. McNeely	"	LOUISIANA
Mrs. G.E. Gelm	Lt.-Comdr. G.E. Gelm	"	Wisconsin
Mrs. B.F. Hutchinson	Lt.-Comdr. B.F. Hutchinson	"	do.
Mrs. Dion Williams	Major Dion Williams	"	CONNECTICUT
Mrs. J.E. Dennis	Surgeon J.E. Dennis	"	VIRGINIA
Mrs. J.H. Morriam	Paymaster J.H. Morriam	"	KANSAS
Mrs. K.G. Castleman	Lieutenant K.G. Castleman	"	do.
Mrs. O.T. Wade	Lieutenant Wade	"	OHIO
Mrs. A. Grenshaw	Lieutenant A. Grenshaw	"	NEBRASKA
Mrs. H.C. Mustin	Lieutenant H.C. Mustin	"	KANSAS
Mrs. J.J. Hyland	Lieutenant J.J. Hyland	"	MINNESOTA
Mrs. A.B. Cook	Ensign Cook	"	MINNESOTA
Mrs. Hare	Care Ensign Cook	"	GEORGIA
Mrs. Le Bretton	Ensign Le Bretton	"	MISSOURI
Miss Le Bretton	do.	"	do.

Names of American Navy and Army Officers in Japan

Colonel and Mrs. S.E. Mills	Care of Military Attache
Comdr. and Mrs. J.A. Dougherty	Naval Attache
Lt.-Colonel and Mrs. J.A. Irons	Military Attache
Medical-Inspr., Mrs. and Misses Du Bose	U.S. Naval Hospital, Yokohama
Surgeon and Mrs. J.O. Pryor	do.
Paymaster and Mrs. J.H. Gunnell	do.

Names of American News Paper Reporters in Japan.

Mr. and Mrs. B.R. Kennedy	Associated Press No. 7 Takikawa-cho, Kyobashi-ku
Mr. and Mrs. and Miss J.K. Ohl	
Mr. and Mrs. and Miss J.K. Ohl	New York Herald Imperial Hotel, Tokyo.
Mr. and Mrs. Clement	Chicago Daily News No. 29, Sansi-zaka, Ushigome-ku, Tokyo.
Mr. and Mrs. Swift	New York Sun. Care of Imperial University.

5-0208

0186

明治四十一年十月十五日

帝國陸道廳 木下技師

篠原 初老 殿

お笑明十六日、米國艦隊、横濱
滞泊中、當廳、駐在、全艦隊、歓迎
事務、八日、燈祭、日、當、区、別、十、年、前、

時、予、午後、十時、より、友記、地、所、に、來
り、取、扱、上、及、山、路、及、山、道、等、也

帝國陸道廳運輸部 篠原 初老 殿

電話番號 新橋 四六八一

標榜

米國艦隊ハ十八日午前九時頃横濱入港
ノ旨公電有之ヲ就テハ委員ハ午前七時十
分新橋發、汽車ニテ横濱ニ着直々ニ港務
部接橋ヲ發向スルコトニ變更致メ御及御
通知矣也

明治四十二年十月十七日

野間口接待委員

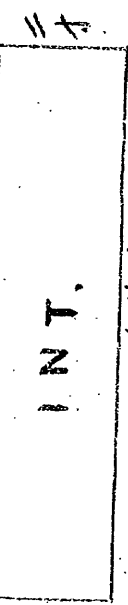
台接待委員殿

是于七時十分發、汽車ニハ委員一行ノ爲メ
一車ヲ増結ノコトニ相成リ又松原港力高カ
海軍武官ノ贈答ハ禮殿 引當ル

米國艦隊接待雜報

一、東京警視廳北査ニシテ英語通譯並査ハ左記離形、徴章卓ヲ左腕ニ纏フ旨通知アリ

一尺六寸



地質赤絨但シ文字ハ白絨

一、當日如幕委員長ハ林政府ヲ代表シ米國艦隊ヲ公訪ス(委員隨行)

一、米艦入港ノ際次第書中ニアル歡迎船ノ外大日本共同運輸株式會社ヲ、歡迎船錦江丸ヲ出ス趣ナリ

一、米國艦隊下士卒、嚮導員格俸ニ任スル下士卒ニハ該任務執行中ハ識別徴章トシテ左腕ニ白布ヲ纏ハシム(巾約二寸)

一、米國大西洋艦隊司令長官以下將校、房ノ芝離宮ニ電話番席左記、通リ柴設セラル(但シ十八日以後別通ノコト)

新橋 五〇六〇番

同 四〇六二番

一、米國艦隊入港、除同艦士官以上ノ家族ヲ各其主人、船ニ乗ル可ク早ク送ル旨、林艦隊、向合ニ服ヨリ汽艇ヲ新橋ニ出ス

一、帝國鉄道之廠ニ於ケル米國艦隊歡迎事務所ハ日曜祭日等ノ区別ナク午前八時ヨリ午後十時迄

左記ノ場所ニ於テ取扱フヘキ旨同願木下技師
ヨリ通知アリヨリ

帝國鐵道之融運輸部秘書課

電話番簿 新橋 四六九二

一、コタラホホテルニシテ接待委員用トシテ設備

シアリ

一、十八、二十三、二十四、二十五ノ四日間税関監視部階上應接

所ヲ接待委員用トシテ借田シ置キリ

一、艦隊乗組員ノ家族ハコタラホホテル、コタラントホテル

コタラエントルパレスホテルニテ宿シアリ其先任者

コタラントホテルニ在リ

一、横濱出張ノ接待委員事務所ハ階階部樓

上ニアリ古川海軍少佐ハ白鬼ニ出張ス

一、喜望峯官舎ヨリ東京地回一萬四千七百部葉文日赤

葉内書五百部赤葉國船隊ニ寄贈アリヨリ又赤葉

隊司令官白田司令官ヨリ名譽會費ニ推薦セ

一、葉内ノ兵將校下士卒ニ制服着用者ニ限リ電車

其他親見等ハ赤海軍ト同等ノ取扱ナリ

一、在京城赤國總領事トーマス、サムモン氏ハ赤國

赤船隊乗組中赤邦ニ滞在サル、由

一、赤船隊ヨリハ毎日約一千人赤自由上陸ノ由但シ

陸泊ハ許可セサル由

一、公式ハ赤ノ際新橋ヨリ芝離宮ハ馬車順左ノ

如シ

赤一、スペリー少將、赤謀長、稻葉武和官、中島中佐

赤二、エモリー少將、赤謀、スペリー少將赤謀、大由少佐

中三 シュローガー少将、参謀、市川大尉
 中四 ウエーレン少将、参謀、田村大尉
 中五 米國大使館階級出官

二十月二十二日、提灯行列、観覧

行列一行ハ午後五時三十分東京集合、五時半出發
 和田倉門ヲ入り、重橋ニ至リ、馬場先ヲ出テ、六時半
 商業會議所、支リ、櫻田門外ヨリ
 左折シ、海軍省外務省間ヲ通過シ、先頭ハ七時
 圖書館前ニ着シ、同所ニ於テ實業團體會頭ハ
 歡迎辭ヲ述ブル事ナリ、又テ是日ヨリ観覧
 スル者ハスベリ、長官以下外務省及警察局長ニ招待
 セラルモノハ午後七時圖書館前ニ到着スル様ニサレ、
 キ希望ナリ、又テ是日午後五時半ニ引上テ

テ、換服ノ後、午後七時圖書館前ニ来ラル、橋手
 引スルト支リ、提灯行列ニ逆ニ係行、上右外務
 省又ハ歌舞伎座ニ行コト

一、通報船ノ錨位左ノ如シ
 C 龍田 D 最上 E 淀

一、歡迎船ニ乗組ムハ、伊豆警務隊技姓名

- | | |
|------|---------------|
| 神奈川丸 | 三笠 海軍中佐 松村豊記 |
| 鈴順丸 | 吾妻 海軍大尉 廣瀬 豊 |
| 松山丸 | 廣島 海軍中尉 鈴木卓郎 |
| 博愛丸 | 對馬 海軍大尉 野原三郎 |
| 筑前丸 | 富士 海軍大尉 田中豊一 |
| 新農田丸 | 香取 海軍大尉 三原秀太郎 |
| 有明丸 | 春日 海軍中尉 柳堀傳藏 |

(後)

米艦接待雜報

一、米國艦隊水兵、昨日ヨリ、ミナト留止毎日
千五百名宛上陸シテ、講スルトナレリ。着京時
間ハ、中時五分、中時二分、中時一分、三
回ナリ。新橋若時五分、五時五分、五時三分、
六時五分、三回ナリ。此レ、ミナト留止ニシテ
四百名宛入ル、ホタルトナレリ。江ノ島見物ハ
餘盛、通り毎日五百人宛ナリ。帰艦時留
止、毎夜中時五分、中時一分、中時一分、
一、帝國水兵、電燈番、新橋五、七、五番

5-0208

0192

米國艦隊接待雜報 四 四月廿五日付

二十日、東京市報迎會、米國艦隊、四組一組
甲乃至(六)ノ軍、米隊、出シ、二十日、下士、早ラ先
道、シテ、日比谷公園、由、緑、山、コト、ナレリ、東京市
役所、前、に、集、由、者、新、橋、停車場、に、出、シ、大、衆
道、ヲ、スル、自、然、ナリ

米國艦隊、土曜、日、外、毎、日、午、後、二、時、至、四、時、止、艦、内
縦、覧、ヲ、許、ス、ト、ナレリ

但、官、吏、官、吏、等、其、他、相、當、ナル、身、分、ヲ、有、シ、不、俾
裁、ナ、リ、ナル、服、装、ヲ、ス、モ、ニ、限、ル
各、艦、ニ、分、シ、テ、行、ク、一、般、民、衆、積、込、中、に、艦、ヲ、行、カ、ル

米國艦隊司令長官、正式、退、京、ハ、二十三日、午後、
確定、ナリ、新、橋、若、時、留、ハ、三、時、前、後、に、除、去、ナリ
藤、堂、伯、壽、晚、餐、ニ、服、装、隨、意、ナリ

本艦隊接待雜報 五 昭和四年十月廿三日

一 本國艦隊司令長官、公武退京、廿三日午後
三時五十分新橋若木町四十分檢閲者上乗
定セリ

一 本國艦隊東航、処上皇宮園内皇御所
檢閲者別系波皇帝國博物館所屬行
其檢閲列艦、一部、於文部省皇御所
皇宮中、廿日檢閲者皇御所親覽
其皇宮文部次官月通知アリ

5-0208

0194

第14号

大臣
次官

政務
通商
人事
會計
取調

No. 3661
平

中野 外務大臣秘書官 鎮守府

朱艦隊ハ午前九時横濱入港ス
ル旨通知アリタリ

十五

横濱新聞 四十二年十月十八日 第七三八

朱艦隊 横濱

5-0208

0195

10

第十四門

大臣

外務省

言平大使

小村大五

明治二十八年八月十八日

米五穀係十の十八日午前九時十五分
外事横濱報館より

外務省

大正九年

百十八年十月十日
七訂書目秋去
手續済済



人事課長

〆

海

表

明治四十一年十月十日

海軍大臣
外務大臣

宮内大臣 (御覽)
皇后御方

湯見被仰付仕人名中異動ノ件

米五、大、西洋艦隊ノ長官及以ノ官位
將校等ニ湯見被仰付仕人名中異動ノ件
此ノ事、海軍大臣申病氣ノ旨、四名存立
於此、削除致シ、四名ノ追加カ、

海軍

新立、紙、削除及追加ノ名、並、本録
以、申、上、也

明治四十一年十月十日

海軍大臣
外務大臣

宮内大臣

市、海軍大臣、被仰付仕人名中異動ノ件

前日、文 (調見シ、市、海軍大臣ニ付)

削除人名

コネーチカット副長 海軍中佐 兵 工ス、ウアン、デウ、ガ
オハイオー 副長 海軍中佐 兵 工ス、ウアン、デウ、ガ
ルイジアーナ 副長 海軍中佐 兵 工ス、ウアン、デウ、ガ
艦隊主計長 海軍主計中佐 兵 工ス、ウアン、デウ、ガ

追加人名

艦隊参謀 海軍少佐 リドリ、マク、リ、ン
艦隊副官 海軍少佐 工ス、ピ、リ、フ、リ、ン、ウ、ガ、イ
艦隊機関長 海軍少佐 工ス、ピ、リ、フ、リ、ン、ウ、ガ、イ
艦隊参謀 海軍大尉 デ、リ、エ、リ、ウ、ガ、イ

海 軍

5-0208

0198

- | | | |
|-----|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. | Rear Admiral Charles S. Sperry..... | Commander-in-Chief. |
| 2. | Rear Admiral William H. Emory..... | Commander, Third Division. |
| 3. | Rear Admiral Seaton Schroeder..... | Commander, Fourth Division. |
| 4. | Rear Admiral Richard Wainwright..... | Commander, Second Division. |
| 5. | Capatin W.P. Potter..... | Commanding VERMONT. |
| 6. | " K. Niles..... | " LOUISIANA. |
| 7. | " J. Hubbard..... | " MINNESOTA. |
| 8. | " J.B. Murdock..... | " RHODE ISLAND. |
| 9. | " H. Osterhaus..... | " CONNECTICUT. |
| 10. | " C.E. Vreeland..... | " KANSAS. |
| 11. | " E.F. Qualtrough..... | " GEORGIA. |
| 12. | " W.H.H. Southerland..... | " OHIO, NEW JERSEY= |
| 13. | " T.B. Howard..... | " OHIO. |
| 14. | " W.C. Cowles..... | " KENTUCKY. |
| 15. | " R.F. Nicholson..... | " NEBRASKA. |
| 16. | " H. Hutchins..... | " KEARSARGE. |
| 17. | " J.M. Bewyer..... | " ILLINOIS. |
| 18. | " A. Sharp..... | " VIRGINIA. |
| 19. | " F.E. Beatty..... | " WISCONSIN. |
| 20. | " R.M. Doyle..... | " MISSOURI. |
| 21. | Commander A.W. Grant..... | Chief of Staff. |
| 22. | Lieut-Commander Ridley Molean..... | Aid-Fleet Ordnance. |
| 23. | " S.P. Fullinwider..... | Aid-Flag Secretary. |
| 24. | " H.J. Cone..... | Fleet Engineer. |
| 25. | " C.B. Nevay, Jr. | Commanding, YANKTON. |
| 26. | Lieutenant T.T. Craven..... | Aid-Flag Lieutenant. |
| 27. | " D.W. Wurtsbaugh..... | " |
| 28. | " R.W. Henderson..... | " |
| 29. | " D.A. Weaver..... | Aid-Flag Athletic Officer. |
| 29. | " S.C. Rowan..... | Aid-Flag Lieutenant. |

シ
メ
ル
分
異
動
シ
修
正

第14

明治 年 月 日
日 時 分
電 報 局

大 作

合 意

大 正 一 年

在 米 方 大 使

大 五

電送第 二八八八號
明治 一 年 十 月 十 九 日 一 時 發

米 方 大 使 館

大 正 一 年

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

外 務 省

下 士 庫 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

米 方 大 使 館 領 事 官 長 友 以 下 所 送

5-0208

0208

校入京 東京市長及接待員之ヲ停車坊ニ

迎(一) 後隊砲中特別ノ員ヲ以テ可

會長友目今及及幕僚ノ旅舎ニ隨テ定

司官(在) 幕僚ニ入リ幕僚以下幕

僚ニ在後五ニ 隨方且及後海軍

大臣ヲ訪ハセリ 明二十日ニハ 司會長友以

下幕僚司官兄ヲ贈ニ若

外務省

5-0208

0201

半島船主の別

十九日午五時、吃茶會、名譽座、花

閣下並諸君 余、存夕必宴、設ケラレタル大使閣下
ノ極テ懇篤ニ辞令ニ對シ一言謝意ヲ表セザル
カラス余、閣下、明快ナル高談ヲ聽クニ於テ
感激欣懐交々毛テ覺ユ吾人、益重スル
米國大統領ノ我招請ニ應シテ大西洋艦隊
ヲ派遣セラレタルハ即チ余ノ感激スル所以ニシテ又
「スパリ」司會長官及其精銳ナル將卒ヲ尚
國ニ迎ヘ以テ我等ノ米軍並米軍人ニ對テ敬
愛ノ衷情ヲ重テ表彰スルコトヲ得タルハ即チ余
ノ欣懐ト云フ所以ナリ
五十五年「スパリ」提督我等ノ招請ナク

第14門

シテ突然本邦ヲ訪ヘリ當時提督カ我等ノ歡
迎セサル外賓タリシハ茲ニ明白セサレ得ス然レ
トモ其航航、日本ノ國史及至國際關係ニ於
テ顯著ナル一勲紀元ヲ劃シタリ今ヤ「スパリ」
提督、我等ノ招請ニ依リ我等ノ歡迎スル
佳賓トシテ、尚國ニ航セリ余、提督ノ來訪
・由リ其前任者、創定セテ平和的通航及
・隣國ノ關係ヲ更ニ振作スル効果ナルヲ信
・シ現ニ兩國ノ結念スル友好和協ノ聯繫
・ハ之カ益益舉國ヲ加スヘキヲ疑ハス

5-0208

0203

Your Excellencies and Gentlemen:

I feel it my duty to say a few words in appreciation ^{honored} of the very cordial remarks just made by our ~~honored~~ host. I have listened to his eloquent speech with mingled feelings of thankfulness and satisfaction, thankfulness that the worthy and respected President of the United States honored us by accepting our invitation for the Atlantic Fleet to visit our shores and satisfaction that we are able by our reception of Admiral Sperry and his gallant command, to give additional evidence of the sentiments of respect and high esteem we entertain for America and Americans.

Five and fifty years ago Commodore Perry entered our portals an unbidden and I am compelled to admit, an unwelcome guest. His coming marked a new and great era in Japan's National History and international intercourse. To-day Admiral Sperry comes to us as an invited and welcome guest and it is my belief that his advent will give a new impulse to our relations of peaceful commerce and good neighborhood inaugurated by his predecessor, and it is my confident hope that his visit will tend to strengthen the traditional bonds of friendship and good understanding which happily unite our two countries.

5-0208

0204

明治四十一年十月十九日接受

奉為大臣

第一〇五七號

受第一一八七八

為

大臣

第14期

次官



為急電法
通知済

東ル二十日午十二時米國大西洋艦隊司令長官
以下、御陪食被仰付候節左記ノ向ハ御陪
食被仰付候條為御心得此段申進候也

明治四十一年十月十九日

式部長官伯爵戸田氏共

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

米國特命全權大使

トーマス、ジエ、オブライエン

大使館参事官

ピーター、オーガスタス、ジエー

大使館二等書記官

ポースト、ホイラー

大使館三等書記官

ワラランド、ハリソン

大使館附武官

海軍中佐ジョン、エドハーチー

陸軍中佐ジェームス、エイアンス

大使館書記官ランスフォード、エミルラー

奉為大臣

5-0208

0205

明治四十年十月二十九日

式部卿 第一〇六二號

米國大西洋艦隊今般本邦へ來航ニ付テ來ルニ付
同艦隊司令長官以下部下將校二十九名

兩陛下へ謁見、後午十二時

天皇陛下午後餐御催ニ付御陪食被仰付候事

御沙汰候事此段申入候也

明治四十年十月十九日

宮内大臣 伯爵 田中光顯

外務大臣 伯爵 小村壽吉 郎 擬

海軍大臣 男爵 高松 實 殿

外務省

式部省 第一〇六一号

米因右西洋艦隊今般本邦、來航、自回艦隊司

令長官以下部下特校二十九名

兩陛下、謁見、儀御申越之趣遂奏聞其家

明二十日午前十一時五十分

兩陛下、謁見被

仰旨候旨御決法修至此段申入修也

同日午前十月十九日

宮内大臣伯耆田中光顯

右大臣伯耆小村嘉孝

海軍大臣男爵高橋 實久

外務省

米國艦隊司令長官ハ本日謁見、際大
使使ヲ召シ、宛昨ヲ文使カシテ、貴上
セリ

貴官ハ日本國皇帝陛下ニ及スレテ
、康寧昌運ト國內征應、福祉ニ
對スル事ヲ表敬、念ラ以テシテ、熱
旨ヲ奏上セラルヘシ

此後大西洋艦隊ハ世界一週、海
路ヲ航シ、ヲ為スル、日本國、根
據ヲ更テシテ、**歐羅巴**、米兩國古

来、親交ト共ニ市、或者スル所、
ニ、艦隊司令長官カ、貴官ヲニテ、
ニ、親シク又、意ヲ披瀝セシムルヲ得ルハ
予、益合在國、民、深ク満足スル所
ナリ

貴官ハ先此米兩國、存セシ親
密ナル關係、益々強固ヲ如ヘント、並
且、水陸、ハ、事カ、懇切、禁室タルコ
トヲ陛下ニ、佈陳セラルヘシ
右ニ對シ、天皇陛下ヲ召シ、勅語ヲ賜ヘリ

朕、東國海軍、代表者トシテ、御
 座、フニ、方、貴國大統帥、懇懇ナ
 ル、御意ニ、接スル、ヲ、憐、レ、朕、レ、深ク
 大統帥、右、極好情、ヲ、深ク、御
 座、御、極、大統帥、政、ス、朕、レ、衷、誠
 、念、ヲ、以、テ、セ、ム、ト、ス、朕、レ、貴、國、西、國、
 親交、現、ニ、最、敦、厚、ナル、ヲ、視、テ、欣、快
 、甚、ヘ、ス、今、又、御、座、年、節、中、朕
 、臣、民、ヲ、以、テ、重、ク、御、座、國、人、對、ス、ル

友愛、表、情、ヲ、表、露、ス、ル、機、ヲ、得、セ
 シ、メ、ル、ヲ、大、統、帥、ニ、謝、ス
 今、在、爾、ト、御、座、年、節、深、ク、レ、轉、睦、親、善
 、朕、レ、最、モ、重、要、ト、為、ス、所、ヲ、益、西、國
 、友、好、ヲ、鞏、固、シ、シ、以、テ、善、隣、和、好、聯
 繫、ヲ、名、譽、ヤ、ラ、シ、ム、ル、ハ、朕、レ、不、易、ノ、企、望
 ナ、リ、コト、特、年、節、既、進、出、ク、シ、ル、ハ、朕、レ
 御、座、深、ク、以、意、ヲ、大、統、帥、及、サ、ム、コト、ヲ、以、テ、ス
 朕、レ、御、座、前、途、航、程、依、然、平、安
 ナ、ラ、ム、コト、ヲ、祈、ル

朕ハ米國海軍代表者トシテ御ヲ奉
ルニ方リ貴國大統領ノ懇懇ナル来意
ニ接スルヲ憚一フ朕ハ深ク大統領ノ友
誼好情ヲ深クシテ御ヲ迎テ大統領
ニ及スニ朕カ衷誠ノ念ヲ以テセムトス朕
ハ貴國兩國ノ親交現ニ最敦厚ナルヲ
視テ欣快ニ堪ヘス外ニ御ノ来意ニ
由リ朕カ臣民ヲシテ重テ御ノ國ノ對
スル友愛ノ衷情ヲ表彰スルノ機ヲ得セ

外務省

レシタル大統領ニ謝ス

今兩國ノ親交ノ關係ニ輪睦親善
ノ朕カ深ク御ノ來意ヲ為ニ所ナリ蓋兩國
ノ友好ヲ鞏固ニシテ善隣和好ノ
際際スルノ不慮ナラレムルハ朕カ不易ノ
企望タルコト將キ於此ニ如クナレハ
朕ハ御ノ深クシテ大總統ニ致サムコ
トヲ以テス
朕ハ御カ前途ノ祝望依然平安ナラムコ
トヲ祈ル

華盛頓表 十月十日

スハリーが将校大統領宛電文

貴官、日本國皇帝陛下に送す。陛下
ノ康寧昌運ト國內安寧、福祉ニ對
スル事ヲ衷誠ノ念ヲ以テシテ、
奏上セラルヘシ

此大西洋航路ヲ世界一國ニ渡
航ノヲ為スニ方リ日本國ノ招請ヲ
受ケタルノ事實、日米兩國古來ノ
親交ト共ニ予ニ忝為スレテ

外務省

終身月長官ノ貴官ヲシテ、親
シク此意ヲ披露セシムヲ得ルニ予並
公衆國民、深ク満足スレ可ナリ
貴官ノ貴族身兩國ノ存ニ親交
ナル關係、益々強固ヲ極ムコト並
ニ、北淡ニ予カ懇切、注意スルコトヲ
陛下ニ佈陳セラルヘシ

金

印

華盛頓表

神高秘茂第...

警政務局

長

二一九〇

四

第14門

神高秘茂第...

米國艦隊未航、関スル件(第一回)

米國艦隊拾六隻ハスベリ少將統率、昨十八日午前九時十五分旗艦コンネツチカット號ヲ先頭トシ各艦同一距離ヲ保チツ、除々横濱港頭ニ進ミ入リテ先之我艦隊中最上外二艦ハ觀音崎沖合マテ出迎ニ彼我艦隊相會シタル際シ我艦ヨリ水先案内者ヲ先頭艦ニ乗組マシテ斯クテ九時愈々艦隊、未港ヲ報スレバ彼我兵員、登艦禮ヲ行フト同時ニ米艦隊ヨリ先ツ二十一發ノ礼砲ヲ發シ我艦隊亦之、應ス次ニ米艦隊ハ我司令長官ニ對シ礼砲ヲ發シ我艦隊又之、應スルハ...

ハ水雷艇ニテ我旗艦三隻、司令長官ヲ訪問シ終テ伊集院司令長官ハ旗艦コンネツチカット號ニスベリ一司令長官ヲ訪問セリ午後二時、至リ司令長官ハ幕僚一名及我接待官ト共ニ新設棧橋ヨリ上陸當廳ヨリ差廻シ、馬車ニテ縣廳ニ知事ヲ訪問シ夫レヨリ横濱市、歡迎ニ係ル横濱公園内、園遊會ニ臨ミタリ之レト前後シテ當日招待セラルル米國艦隊司令官艦長幕僚將校下士卒約千六百名ハ我艦隊乗組將校等ト共ニ會場ニ赴キ...

答礼ヲナス午後七時スベリト少將各司令官艦
長以下幕僚三十餘名ト共ニ上陸シテトホテ
シテ於ケル市長、晚餐會、臨ミテ午後九時
半ヨリ開カル、知事官邸於ケル夜會ニ臨ミテ
夜會ハ午後九時三十分ヨリ開始午後十二時過キ
散會セリ主賓米國司令官以下司令官艦長
將校等三百餘名、外我艦隊將校其他合シテ
約壹千名ナリシ当夜會於テ知事、米國大統領
閣下、萬歳ヲ祝セル、對シスベリ少將、我皇
帝陛下、萬歳ヲ唱シ次ニ知事、米國艦隊歡迎
ノ辭、對シ司令官長官、答辭アリ終ツテ餘興ニ移
リ午後十二時頃至リ、順次退場ス
一般市民歡迎ノ狀況

今回米國艦隊、來航ニ付テハ一般市民ハ熱誠ヲ
以テ之レカ歡迎ヲ為サントテ數十日以前ヨリ歡迎
準備、怠リナク其狀況ハ殆ンド想像以上ナリ今
之レカ概畧ヲ擧ゲレバ市内各町各團體ハ何レモ
種々、意匠ナクシテ裝飾ヲ施シ各町出入口ハ
綠門ヲ造リ(ウヰルカハ)、文字ヲ現シ周圍ハ無數ノ
電球ヲ以テ兩附サシ彼我、大國旗ヲ交又シ各
所ハ紅白ノ幕ヲ張り日米國旗日米提灯ヲ連ネ
裝飾ヲ施セル各町、狀況ハ一見恰モ國旗球燈
ノ隊士道ヲ形成セルカ如クシテ而モ何レモ虛礼ニ
失セズ熱誠ヲ以テ歡迎センモノナリ
艦隊、入港ニ先ケ觀音崎附近迄汽船五艘、歡迎
迎負滿載ニテ出迎歡迎ヲ為シ上陸地点タル

海岸通、ハ勿論艦隊乗組員通過ノ沿道ハ歡
迎ノ為ノ押寄セタル數萬、群集ヲ以テ殆ンド立錐
ノ餘地ナキ迄、沿道兩側ニ整列シ艦隊員通過
毎々各々手ニセル日米小國旗ヲ打テ振り萬歳ヲ
叫其狀殆ンド狂セン計リ、有様ナリシ又市内各
小學校生徒ハ何レモ沿道兩側ニ整列シ歡迎ヲ
為シ花束ヲ贈リ萬歳ヲ叫ビ盛大ナル歡迎ヲ為
シタリ又艦隊入港ト同時ニ煙火數百發ヲ打揚
ケ尚ホ園遊會晚餐會夜會場附近ニハ間
断ナラ煙火ヲ打テ揚ケ又夜間ニ入りテハ歡迎ニ為ソ
二萬人以上ニテ二組ニ分レ提灯列ヲ舉行シ市中
米國領事館前等ヲ行列シ晚餐會場夜會
場ニ至リシ際ハ萬歳ヲ三唱シ又ハ歡迎文ヲ朗讀

シテ誠意歡迎ヲ為シタリ又當夜夜會場ニ至ル
通路ハ數町以前ヨリ兩側ニ電燈提灯ヲ吊シ會
場タル知事官邸ニ樓上樓下凡テ電燈ヲ紅白
ニ所附ケイルミネーション、裝飾ヲ為シ橋梁船
船我艦隊ニ何レモイルミネーションヲ施シ海陸
ノ美觀ハ實ニ大觀艦式ニ續テ、壯觀ヲ呈シタ

一諸般設置ニ関スルコト
米艦隊未航ニ付キ豫テ所締其他艦隊歡迎、
設備ニ着々豫定ノ通リ之レヲ開始シ市内各所
ニ休憩所、案内所、詰所等ノ設備ヲ為シ專ラ
之レヲ督勵シテ以テ道邊感ナカラシムルニ努メツ、アリ
一警察事項

(1) 十八日午後三時頃市内西波止場英一番地前、於テ恰モ艦隊乗組員上陸、際米國將校乗用馬車、馬歡迎萬歳聲、驚キ突然疾馳シ歓迎ノ為メ、整列セル市内戸部小學校生徒須永儀一、十二年外五名、負傷セシム依テ真ニ附近市役所、收容シ當廳検査医サレテ應急手当ヲ施サレ、同時、横濱公園内、出張シ居ル赤十字社救護班、通知シ共ニ治療ヲ加ヘタル、負傷者、何レモ輕傷トシテ手返、擦過傷ナルヲ以テ四五日間、全治見込ナリ

(2) 今日午後三時頃西波止場、歡迎、為メ整列セル市内本校小學校生徒岩崎トヨ十年、腹貧血ヲ起シ、在倒セシヲ以テ直ニ應急手当ヲ

加ヘ帰宅セシム

(3) 全時、所々、神奈川小學校生徒清水文雄、小代井松、両名ハ、歡迎整列中腹痛ヲ記シ、前々斷、處置ヲ為ス

(4) 今日午後八時頃西波止場、於テ市内本町一丁目十二番地清川亀次郎方雇人岡田良昭、腹貧血、為メ在倒シ、検査医サ派シ、應急手当ヲ施シ帰宅セシム

(5) 今日午後八時頃一米園水兵人カ車、テ波止場、リ市内是更町二丁目十九番地飲食店鈴木清次郎方、乘リ、該車夫、賃錢ヲ支拂ハントセシガ小銭所持セサルヨリ、五田、金化員ヲ取出シ、兩換リ頼ミタル、車夫、其、五田金化員ヲ所持シタル

マ、^マ逃^マ走^マセシ旨^マ許^マ出^マル^マル^マ依^マリ^マ同^マ下^マ嚴^マ重^マ搜^マ
査^マ中^マ
其他^マ本^マ邦^マ人^マノ^マ係^マル^マ行^マ政^マ警^マ察^マ事^マ項^マ之^マリ^マ省^マ略^マ
右^マ及^マ報^マ告^マ候^マ也^マ
明治^マ四^マ十^マ一^マ年^マ十^マ月^マ十^マ九^マ日^マ
神^マ奈^マ川^マ縣^マ知^マ事^マ男^マ爵^マ周^マ布^マ公^マ平^マ
外^マ務^マ大^マ臣^マ伯^マ爵^マ小^マ村^マ壽^マ太^マ郎^マ殿^マ
報告(内相、海相、外相)

5-0208

0216

明治四十一年十月二十日接

高秘発第一〇七號

警務局

二一九〇

第14門

米國艦隊ニ関スル件(第二回)

米國艦隊ニ於テハ艦隊碇泊中多數乗組員上陸スルヲ以テ間接警戒ノ爲メ且ツ彼我艦隊員ノ爲メ便益ナルヲ以テ監督員ヲ上陸セシメ一一定ノ場所ニ詰メ置キ度キ旨申出ニ依リ相互ノ便宜ト認メ本日ヨリ左記ノ通り詰所ヲ定メ米艦隊ヨリ夫々配置ノ答ナリ右及報告候也

明治四十一年十月十九日

神奈川縣知事男島村周布公平

外務大臣伯爵山村壽太郎殿

左記

明治四十一年十月十九日

米國艦隊上陸乗組員監督者配置表

場所	警察部	士官	下士官
伊勢佐木町二丁目	一	一	四
横濱傳車前案内所			四
戸部警察署			四
神奈川警察署			四
永樂町消防器具置場内			四
山手本町警察署			四
公園地内案内所			四
新設棧橋側			八
計	六	二	四八

以上監督員上陸ハ毎日午前十時ヨリ午後十時迄トス

5-0208

0217

外ニ士官ニ名下士官十六名、東京ニ出張ノ筈

(内相海相外相)

5-0208

0218

明治四十一年十月十九日

英國艦隊自ニ来ル件

日本橋區橋正町六為地居住アールンジャー、エツキ
 ミットワールナル者ヨリ本日入京、英國艦隊乘
 担負、兩替ニ対シ横浜正金銀行東京支店ニ
 於テハ米貨売掛ニ付売田九八残、價格支
 拂ヲナスニ拘ラス、新橋停車場ニ於ケル兩替
 所ニテハ売田九八残ニ引替矣ハ甚ク不當ナリ
 ト、申出有之矣ニ付直ニ各署ニ通達スルト
 同時ニ所轄署長ニ命ジ右兩替所ニ対シ事
 宜取調ヲナシメタルニ横浜ニ於ケル兩替所ニテハ
 五四八残、年數料ニ付引替矣起ニ付亦八八残
 、年數料ヲ收受セシ旨申立テ其横浜正金
 銀行東京支店ニ於ケル價格支拂ト同様、支
 拂ヲナスヘリ論示矣屬、米貨賣掛、為御先
 考此段及通報、多ク

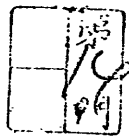
明治四十一年十月十九日

警視總監 滝井英三 啟

警保局長 有松英義 啟

Handwritten notes and signatures on the right margin.

機密 受第2399號



明治三十二年十一月十九日

東京新聞

第1441号

乙卯年十一月十九日

米國艦隊並実業家歓迎ノ件

東京新聞

第1441号

言

秘

機密 第2795號

今回来航ノ米國艦隊並ニ実業家歓迎ノ件、為メ東京実業聯合組合會ニ於テ提灯行列舉行ノ件既報ノ慶愈々来ルニ至リ(雨天順延)全組合員尙萬五千人ノ提灯行列ヲ為スコトニ決定セリ而シテ當日ハ午後五時三菱原ニ集合全六時出發和田倉門ヲ入り皇城前ニ至リ萬歳ヲ三唱シ馬場先ヲ出テ右折濠ニ沿ヒ有樂町ヲ経テ勸業

銀行側ノ右折日比谷圖書館前ニテ米國艦隊一行ニ對シ萬歳ヲ三唱シ海軍大臣官舎側ヲ過キ虎之門ヲ出テ琴平町ヲ過キ溜池菫町ヲ経テ米國大使館ニ至リ表門ヨリ本館ニ入り裏門ニ出テ田町六丁目ヲ経菫橋ヲ渡リ菫坂ヲ上リ清國公使館前ヲ経テ總理大臣官邸前ニ至リ萬歳ヲ三唱シテ獨逸大使館前ヨリ右折霞ヶ関ヲ下リ外務省側ヲ右折海軍大臣官舎前ヲ左折幸門ヨリ日比谷公園ニ入り全十時運り場ニテ解散ノ豫定

5-0208

0220

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records http://www.jacar.go.jp/

其二

来ル廿一日全歡迎、為メ本郷區弓町真砂町居住、
商人雇人等三百人、提灯行列アリ
當日ハ午後五時真砂原、集合全所出發和留倉
門ヨリ皇城前ニ至リ萬歳ヲ三唱支シヨリ外務省
米國大使館 帝國ホテル 前等ニ於テ萬歳ヲ三唱
田比谷公園ニ至リ全九時三十分解散、予定ナリ

以上

秘

第十回報告

明二十一日各招待會ニ於ケル巡查配置別紙
通ニ有之候
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

警視總監 通井英三郎

十月五日、各招待會、於午配

正午 陸軍大臣、午餐 (砲兵工廠後學園)

五十名

右三對、午配

警部 二名

巡查部長 四名

巡查
二廠正門外
三廠正門外
水道橋及市
各川橋

制服檢査 (内一名通辯)
制服二名
制服三名

計 廿五名

合計 三十一名

馬車及人力車、構内、置り、構内、二廠、軍隊、次

統子、警部戒、備、答

正午 三井男爵、午餐 (三井集會所) 百二十名

右三對、午配 (即、内外、配置)

警部 二名

巡查部長 四名

制服巡查 三十九名

内指名、馬車及人力車置場 (構外)

取締、専従、

計 四十五名

午後三時 軍令部長、園遊會 (新宿御苑) 士官以上統員 宗様會

右三對、午配 (統、構内外、配置)

警部 一名

巡查部長 五名

制服巡查 五十名

亦二十名、馬車及人力車取締、専従、

通辯巡查 五名

計六十一名

後崎岩寄男爵晚餐會(深川別邸)

三十名

右: 對之午配(邸内外)配置

警部 一名

巡查部長 一名

制服巡查 十六名

内三名、馬車及人力車置場(邸内)取締專従

通辯巡查 一名

計十九名

後崎三芳 總理大臣晚餐(官邸)

三十名

右: 對之午配(邸内外)配置

警部 一名

巡查部長 一名

制服巡查 十名

内三名、馬車及人力車置場(邸内)取締專従

後崎八時芳 總理大臣夜會(官邸)士官以上饗宴(家族)官公

右: 對之午配(邸内外)配置

警部 三名

巡查部長 四名

制服巡查 九十五名

内三名、馬車及人力車置場(邸内外)取締專従

私服巡查 五名

計百十七名

以上

秘

第十一回報告

米國艦隊員入京狀況左記ノ通ニ有之候
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

警言視總監龜井英三郎

一昨夜深川區洲崎遊廓ニ泊リ込ミ米艦員八午前
八時全部歸艦ノ途ニ就リ
一午前九時三十分參謀長及水兵九十名、十時半
五分水兵六百名、十一時十分水兵六百名計水兵千
二百九十名新橋着入京セリ

秘

第十二回報告

米國艦隊司令官一行無事參内
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

警言視總監龜井英三郎

秘

第十三の報

司令官以下各招待会、陽後道館、於此年記

一千九百二十年 陽後道館

春内ノ道館、死置スルモノハ既ニ昨日報告セシ処ノ如シ

歸路ニ死置スルモノハ如シ

二重橋ヨリ春深本部前ノ経テ茶橋、到ル向(麹所四番)

警部 六名

巡查部長 八名

制服巡查 百五十五名

私服巡查 十五名

通弁巡查 一名

計 百八十名

茶橋附近(赤坂四番)

警部 一名

巡查部長 一名

制服巡查 十名

計 十二名

茶橋ヨリ春深茶末橋向及沙崎橋ヨリ其之向(宮内) (甘島番)

警部 一名

巡查部長 二名

制服巡查 十一名

私服巡查 二名

計 十六名

沙崎橋ヨリ春深茶末橋向(京橋四番)

警部 一名

巡查部長 二名

制服検査 十二名
私服検査 三名
通称検査 一名

計 十六名

并 検 東京区警察本部(四区各年五箇川部)

迎査部員 一名
制服検査 十四名

計 十五名

并 検 慶応義塾大学野球部(三回)

迎査部員 二名
制服検査 十二名

制服検査 二名
通称検査 二名

計 十八名

并 検 東京府立総合高等学校(自部)

迎査部員 一名

制服検査 二名

私服検査 十二名

通称検査 一名

計 十六名

計 十六名

迎査部員 一名

私服検査 三名

制服調査 二十一
私服調査 四
通系調査 三

計 三十二

時款 文詢社(貝ノ濱)警令(文詢社)
廿四日以内

制服調査 三

京移四者以内

警令部 一

調査部 二

制服調査 十二

私服調査 三

通系調査 一

計 十九

時款 海軍大臣ノ警令(水交社)
七時半

廿四日以内

制服調査 三

京移四者以内

警令部 一

調査部 二

制服調査 十五

私服調査 十

通系調査 一

計 二十九

秘 第十四回報告

米國艦隊員入京状況左記ノ通ニ有之候
右ノ報告候也

明治四十一年十月二十日

警視總監龜井英三郎

一 昨夜米艦隊水兵一名吉原遊廓政花井樓
登樓遊興シテ歸艦ノ途ニ就カサルニ依リ注意

ヲ與ハスニ翌朝十時迄ノ猶豫アル旨ヲ主張シ歸
艦ヲ背ンセス宿泊今朝九時歸艦ノ途ニ就ケリ

一 來ルニ三月三日午後六時ヨリ紅葉館ニ於テ米友協

會々員ノ米艦隊員招待會餘興トシテ花火二組亦

揚ノ旨届出タリ

一 午後一時十五分米艦隊將校三名水兵三十名新橋
着入京セリ

秘

第十五回報告

米國艦隊員入京狀況左記ノ通ニ有之候
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

警視總監 龜井英三郎

- 一、本日午後二時ヨリ早稲田大學運動場ニテ米國艦隊員十名野球試合アリ
- 一、午後二時米艦隊將校一名、下士一名、水兵八九名新橋發横濱ニ向ヘリ
- 一、米國艦隊司令長官一行午後二時三十分宮城ヨリ櫻田門ヲ出テ有栖川宮邸ニ向ヒ出發セリ
- 一、午後二時米艦隊員二十名計京橋ハ畔ビーヤホーンニテ飲食シテアリ
- 一、午後三時計九段坂上米友協會接待場ニ於テ懇會應テ受ケテアリ

秘

米五船隊入京後ノ状況ヲ尋テ 日第十六回
米五船隊ノ状況ヲ記シテ 有シ候事及 後述
多也

明治四十一年十月二十日

打込丸船長 高田 三郎

一、午後二時二十分頃 米五船隊ノ使合船ノ外、他ノ船
隊下士一各人ノ力ヲ用テ 飛船トシテ 降下シ 船中ノ
棒ヲ折リ 夫ノ在夫ノ 換坐ノ全ニ 舟ヲ 西側ニ 引
續棒ノ折換ハ 全ク 夫ノ不注意ニ 據ルモノト 認
メ 付 其ノ要ホ 不備ナルニ 於テ 船隊ノ 痛
ク 夫ノ 実情ヲ 示シ 自ラ 進シテ 全ク 舟ヲ 引
ヘリ

一、米五船隊ノ一船有 柘川 宮部 等ヨリ 芝罘
向ヒ 廿二日 内ヲ 通過シ 此ノ 時 (午後三時)

秘

米艦隊員入京状況報告(第十七回)
米國艦隊員入京状況左記ノ通ニ有之候
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

警言視總監龜井英三郎

- 一 午後三時八分新橋發米艦隊下士二十三名、水兵百五名横濱ニ向テ
- 一 午後二時五十四分新橋着米艦隊士官十六名、下士二十七名、水兵五十四名入京セリ
- 一 午後三時米國艦隊上陸水兵取締兵十八名

本廳ニ來リ取締上必要ト認ムヘキ場所指定方
 依頼セシメ付十八名ヲ四分シテ上野公園、淺草
 公園、日比谷公園、九段坂ノ四ヶ所ヲ指示シ豫
 テ配置ノ通辯巡查ヲ附屬スルコトトセリ而シテ
 右取締水兵上陸ノ目的ハ泥醉等ノ爲警察
 官ニ迷惑ヲ蒙ラシムルコトナカラシムルカ爲ナリトコト
 ナリ

一 本郷區弓町二丁目十六番地坂口長次郎ヨリ米國
 艦隊歡迎ノ爲弓町、真砂町ニ居住スル商人
 雇人等三百名計リニテ來ル二十一日午後五時
 ヲリ提灯行列ヲ催シ度旨届出タリ其ノ通過
 路ハ真砂原ハ集合上野廣小路ヨリ万世橋
 出テ錦町ヲ經テ 橋ヲ渡リ和田倉門ヨリ

宮城前ニ於テ万歳三唱、米大使館前ニ至リ万歳
三唱、琴平町烏森町ヲ經テ帝國ホテル前
至リ万歳三唱、日比谷公園ニ至リテ解散ス（午後
九時三十分）

5-0208

0232

秘

米國艦隊負入京伏況報告(第十八回)
米國艦隊負入京後、伏況左記ノ通、有之候条右
及報告候也

明治四十一年十月二十日

参事 視察 龜井 英三 郎

一、午後四時新橋發米國艦隊將校一名下士二十一名水
兵二百一名横濱ニ向フ
一、午後四時十分新橋着米國艦隊將校二十一名水
兵九名水兵十七名

5-0208

0233

秘

米國艦隊員入京状況報告(第十九回)
米國艦隊員入京後ノ状況左記ノ通ニ有之候条
右及報告候也

明治四十一年十月二十日

参事 視察 豊島 井 兵三郎

一、年終二十四才位ノ書生体ノ田ノ京橋區外(西町)ニテ
米水兵所持ノ金貨ヲ西詰向スルト林レ全部ヲ出サシメ
テ持込ケレタル旨ノ届込アリ事(實取調ト同時ニ一面
各署長ニ取締方ヲ指示シ置ケリ)

一、案内業ノ免許ナキ書生体ノ者通乗ノ為メト稱シ
米艦隊員ニ附隨シ金銭ヲ貪取スルノ届込アリ事

實取調ト同時ニ一面各署長ニ取締方ヲ指示シ
置ケリ

一、米國艦隊員ノ入京シ奇貨トシ深川区洲岸
貸座敷ヨリ遠ク新橋停車場附近マテ客引
ヲ出シ同艦隊員ヲ乗セ居ル人ヲ車夫ト結托シ
客ヲ引ク手段ヲ取リ居ルノ届込アリ一面各署長
ニ注意シ一面貸座敷業主ニ説諭セリ

秘

米國船隊歡迎ニ付テ提灯行列ノ件報告

(第二十回)

米國船隊歡迎ノ為メ左記ノ通提灯行列施行ニ付
届出タリ
右及報告候也

明治四十年十月二十日

警視總監 亀井英三郎

一、東京實業組合會長ヨリ来ル二十二日午後五時ヨリ
十時マテ約一萬五千人米國船隊並ニ同實業家
歡迎ノ為提灯行列届出タリ道中ハ同日午後五時三
時原ニ集合シ大時表葵和田舎前ヨリ丸ノ内ニ至リ官

城前ニテ萬歳ヲ三唱シ馬場先門ヲ出テ右ニ折レテ濠
添ヒ有樂町ヲ経テ勸業銀行傍ヲ右折日比谷園
書館前ニテ米國船隊一行ニ対シ萬歳ヲ三唱シ海軍大
臣官舎側ヲ過キ赤坂ノ門ヲ出テ平野町ヲ過キ溜池葵
町ヲ経テ米國大使館前ニ至リ表門ヨリ同館ニ入リ表門出
テ田町大丁目ヲ経テ葵橋ヲ渡リ葵坂ヲ登リ支那公使館前
ヲ経テ永田町逡巡大臣官邸前ニテ萬歳ヲ三唱シ独逸
大使館前ヨリ右折霞ヶ関ヲ下リ外務省側ヲ右折海軍
大臣官舎前ヲ右折幸門ヨリ日比谷公園ニ入り運動場
ニテ解散ス (雨天中止)